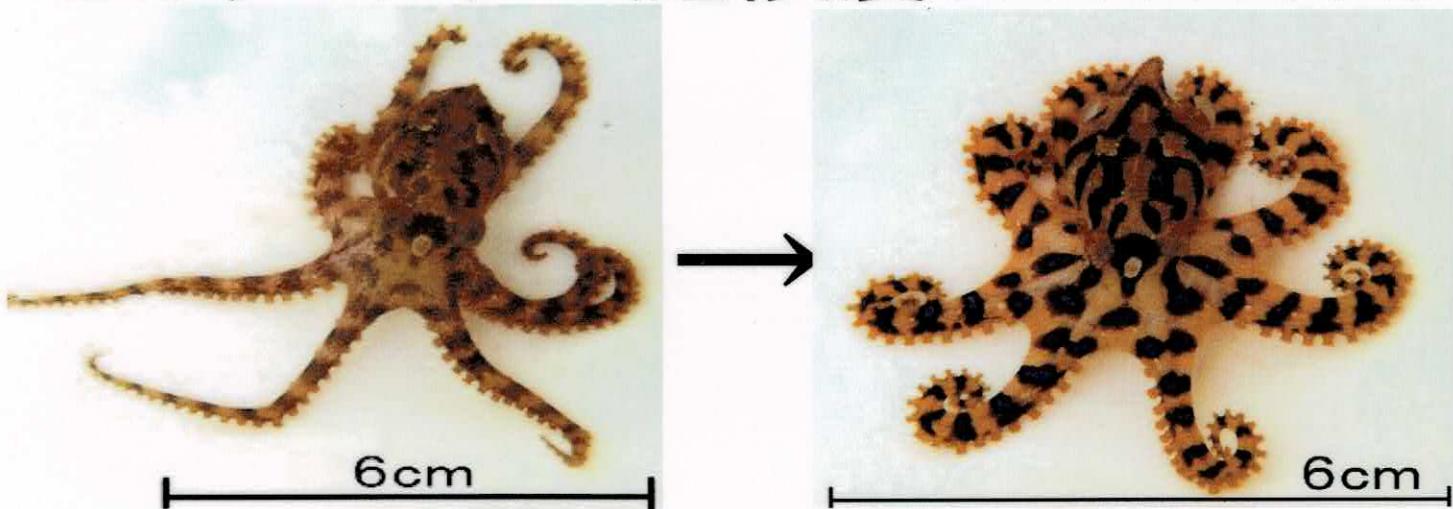


海の危険生物リスト

- 1ページ ヒヨウモンダコ
- 2ページ カツオノエボシ
- 3ページ アカエイ
- 4ページ オニヒトデ
- 5ページ ハブクラゲ
- 6ページ オコゼ
- 7ページ ガンガゼ
- 8ページ ウツボ
- 9ページ ラッパウニ
- 10ページ イモガイ
- 11ページ ゴンズイ
- 12ページ ミノカサゴ
- 13ページ アイゴ
- 14ページ シロガヤ

ヒヨウモンダコ(危険度★★★★★)



特徴

体長は10cm程しかない小型のタコで、ヒヨウ柄のような模様を持つ。
体表のヒヨウ柄は刺激を受けると青色に変色し、その他の部分は黄色に変色する。

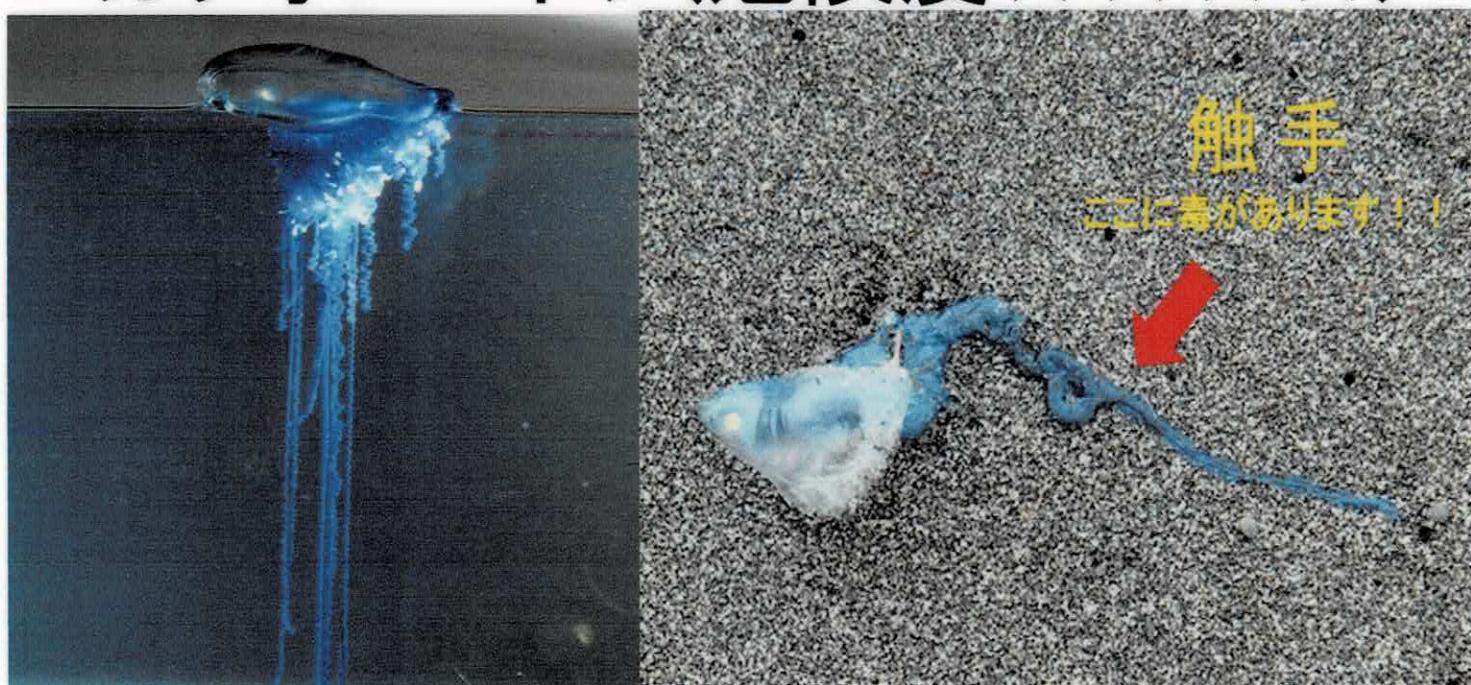
症状

かまれると、数分後から唇、顔や首のしびれを感じ、めまい、
言語障害や嚥下障害が生じる。目のかすみや散瞳など視力障害も報告されている。
続いて急激に脱力感や嘔吐、呼吸困難を生じる。
重症の場合には15分程度で呼吸麻痺が進行し、90分以内に呼吸麻痺により死亡する。

応急処置

呼吸管理が必要なので、すぐに病院に運ぶ。
毒を絞りだし、流水であらうことは効果があるが、毒を吸引することは非常に危険なので、
医師が看護婦がそばにいる場合に行う
嘔吐物を気管につめて窒息を起こしやすいので注意。

カツオノエボシ(危険度★★★★)



特徴

大きさ約10cmほどの透き通った藍色の浮き袋をもつ。
浮き袋から海面下に伸びる触手は平均10m程度、長いもので約50mにも達する。
触手が何らかの刺激を受けると、表面に並んでいる刺細胞から刺胞が発射される。

症状

刺されると強烈な電撃を受けたかのような激痛がある。患部は炎症を起こして腫れ上がり、痛みは長時間続く。二度目に刺されるとアナフィラキシー(アレルギー反応の一種)を起こし、ショック死する危険がある。

応急処置

応急処置は患部を45°C程度の湯に浸すか、氷で冷やすかの二通りがある。
またアンドンクラゲやアカクラゲなどとは異なる仲間なので、同じ処置が効かない、もしくは逆効果になる場合があり注意が必要である。

アカエイ(危険度★★★★)



特徴

尾はムチ状で大きな毒針をもち、これに刺されると大変に危険である。
砂に潜って動かないことが多いので、気づかずに踏んで刺される事故が多い

症状

刺されると傷口の周囲は紫色に腫れあがり、血圧低下、呼吸障害、発熱などの症状が出ます。

応急処置

刺された場合は、まず残っている毒針を取り除き傷口を良く洗う。
毒を吸い出すか絞り出します。毒は熱に対して不安定なため、火傷しない程度のお湯に傷口を
浸け温めます。出血がひどい場合は止血することが重要です。いずれの場合も応急処置の後、
医師による治療を受けることが重要です。

オニヒトデ(危険度★★★★)



特徴

成体は30~60センチ。腕と全身に猛毒のトゲを持つ。
身体にたくさんの棘を持っていて刺されると強い毒が注入されます。

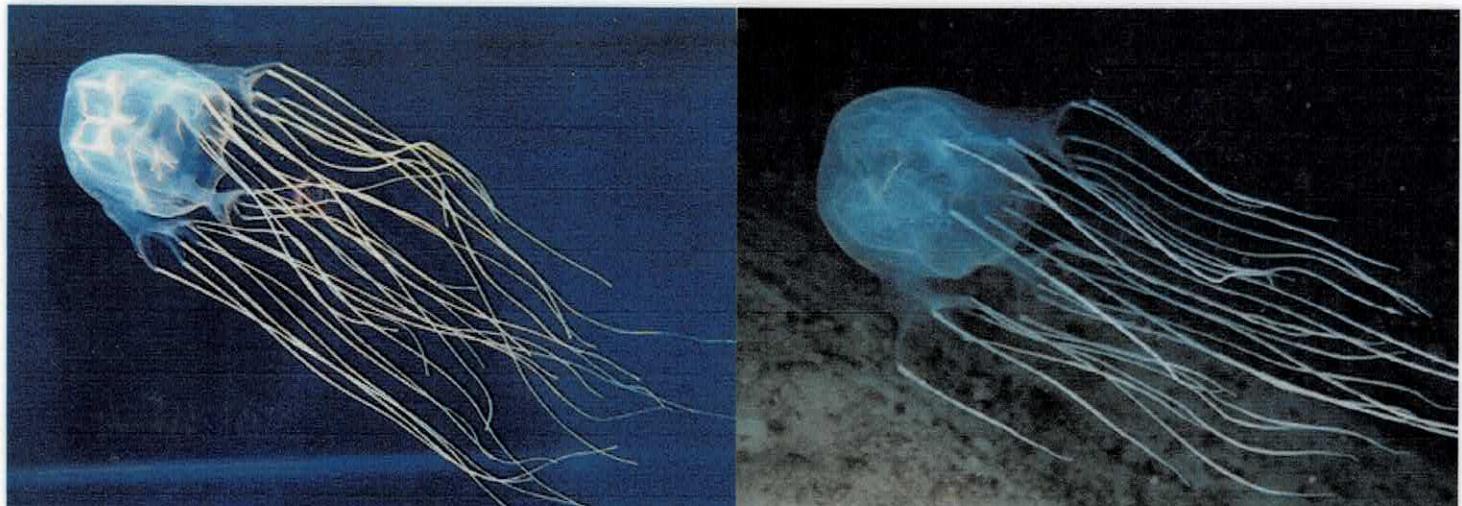
症状

誤って刺されると、個人差ありますが、激しい痛みや腫れを生じます。
腫れに関しては、すぐに症状が出る人もいれば数日経ってから腫れる人もいて、
症状の出方は刺される場所によって異なります。

応急処置

患部に棘が残っている場合はすぐにその棘を抜き、患部を圧迫しながら毒を体外に絞り出す。
毒を除去したら、次に患部を45°C以下のできるだけ熱いお湯に浸けます。
ここまで処置したうなるべく早く病院へ行く。

ハブクラゲ(危険度★★★)



特徴

カサ ヨ ホンタイ ハコガタ シカク チカ
と呼ばれている本体はやや箱型(四角)に近いです。
カラダ ヨスミ ウデ ウデ ホン ショクシュー
この体の四隅に腕がついていてこの4つの腕から7本づつの触手が伸びています。
ゴウケイ ホン ゼンチョウ
合計で28本になります。全長は1.5mをこえることもあるそうです。

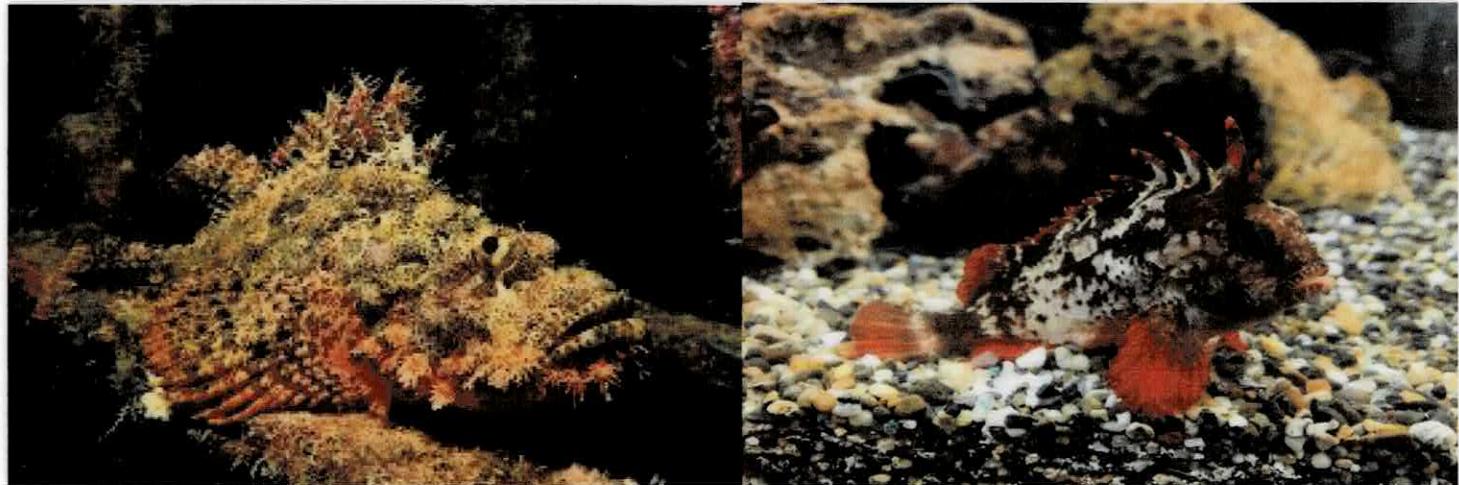
症状

コドモ サ バアイ コドモ カラダ オオ タイ ドク チュウニュウヨウ オオ ヒジョウ キケン
子供が刺された場合、子供の体の大きさに対しての毒の注入量が多いので、非常に危険です。
コキュウ テイシ シンテイシ オ カノウセイ ソナ
呼吸停止や心停止が起こる可能性があるものとして備えましょう

応急処置

タイリョウ ス ジュウブン ス シホウ ハッシャ コウガ
大量の酢を十分にかけます(酢には刺胞の発射をおさえる効果があります)。
ミツカン酢等の市販の一般的なもので大丈夫)。
ショクシュー イタ バアイ コオリ レイスイ ヒ
触手をそっとはがします。痛みがある場合は氷や冷水で冷やします。
ヒ イタ ヤワ ドク カッセイ オサ ハタラ
冷やすことによって痛みが和らぐとともに、毒の活性を抑える働きがあります。

オコゼ(危険度★★★)



特徴

その見た目はとてもグロテスクで、体全体が凸凹で、背びれに棘などがあります。
またその棘には毒を持っているオコゼが多いです。刺されるとひどい痺れなどの症状が出ます。

症状

刺されると激しく痛み、腫れて赤くなり、ひどい場合にはけいれんや呼吸困難がともなう。

応急処置

棘を確認し、残っていたら除去する(通常、棘は太く硬いので皮膚内に残らない)。
傷口を洗浄し、43°C前後のお湯に30~90分温浴する
破傷風や感染症の予防を行い、痛みに対しては鎮痛薬を投与する。

ガンガゼ(危険度★★★)



特徴

体色は黒紫色。最大で30cmほどにも及ぶ、これでもかというくらい長く鋭い棘に全身が覆われており、触ることはまず不可能。

症状

刺されると、患部は腫れ、激しい痛みを伴います。

場合によっては、体が麻痺したり、呼吸困難を起こしたりする重症なケースもあります。

応急処置

刺された部分に残っている棘はできるだけ取除きましょう。

40~45°Cくらいのお湯に30分ほど患部をつけると、痛みが和らぎます。

体内に棘が残ってしまった場合は、化膿する恐れがありますので、

病院を受診し手当を受けることが大切です。

ウツボ(危険度★★★)



特徴

普段は岩の間等狭いところに潜んでいる。口は大きく鋭い歯が並ぶ。体側の色は黄褐色で、その上に不規則な濃褐色の斑紋がある。

危険性

歯が鋭く噛む力が強いので、噛まれると皮膚を傷つけ出血する。
力が強いため噛まれ引き込まれ溺れる可能性がある。

処置や予防

噛まれないように岩場や岩の間でウツボを見つけたら速やかにその場から離れる。
もしも噛まれて出血した場合は速やかに海から出て止血する。
傷がひどい場合はすぐに病院に連れて行く。

ラッパウニ(危険度★★★)



トクショウ 特徴

カク ケイ ジョウ ヒロ サ キョク ヨ トゲ ゼンシン オオ
殻径7cmほどのウニ。ラッパ状に広がる、又棘と呼ばれる棘が全身を覆っている。

ショウジョウ 症状

ルイ ドク ヒト エイキョウ デカタ コト マッタ ナン ヒト
ラッパウニ類の毒は人によって影響の出方が異なり、全く何ともない人もいます。
サ 刺されても痛みはあまり感じませんが、アレルギー反応を起こして体中が腫れ上かい、
カキユウ コンナン チュウイ ヒツヨウ ガラダジュウ ハ ア
呼吸困難になることもありますので注意が必要です。

オウキュウ ショチ 応急処置

ナン バアイ ダイジョウブ キブン ワル コキュウ アラ バアイ
何ともない場合は大丈夫ですが、気分が悪くなったり、呼吸が荒くなる場合には、
アンセイ ビョウイン イ
安静にさせて病院へ行きましょう。

イモガイ(危険度★★★)



トクショウ 特徴

カラ ケイショウ
殻の形状がサトイモに似ていることから「イモガイ」と呼ばれている。
モロウ シマ ハデ キヨウ カイガラ モ シュルイ トクショウテキ
まだら模様や縞などド派手な模様の貝殻を持つ種類が特徴的。

ショウジョウ 症状

イモガイに刺されると、はじめは微かな痛みが刺された部分に走るだけなので気づきにくいが、
しばらくして刺された部分に激痛、さらに痺れ・腫れ・吐き気・めまい・発熱などの症状が現れる
重症の場合は血圧低下や視力低下、全身麻痺などの症状が現れ、最終的には呼吸不全で
シボウ 死亡する。

オウキュウ ショ 応急処置

イモガイ類の毒であるコトキシンには血清が存在しない。
このため、イモガイに刺された場合の対処法としては人工呼吸などで生命維持を行いながら、
カンジャ タイナイ ハイショ マ ホカ
患者の体内からコトキシンが排除されるのを待つより他にはない。

ゴンズイ(危険度★★)



トクショウ 特徴

ムナ セ ドク ツ アツカ チュウイ
胸ビレと背ビレのトゲに毒があるため、釣り上げたら扱いに注意。

シ ドクセイ キ サ ゲキツウ ハシ
死んだあとも毒性は消えず、刺されると激痛が走る。

カイチュウ ダ ム ジョウ ミッシュウ
海中ではフェロモンを出して群れをなす。ボール状に密集しているので「ゴンスイ玉」と呼ばれる。

ショウジョウ 症状

サ ゲキツウ ハシ サ ブイ ハ ア
刺されると激痛が走り、刺された部位が腫れ上がります。

サ カンヨ カンブ エシ ジュウクト
刺された箇所により患部が壊死する重篤なケースとなることがあります。

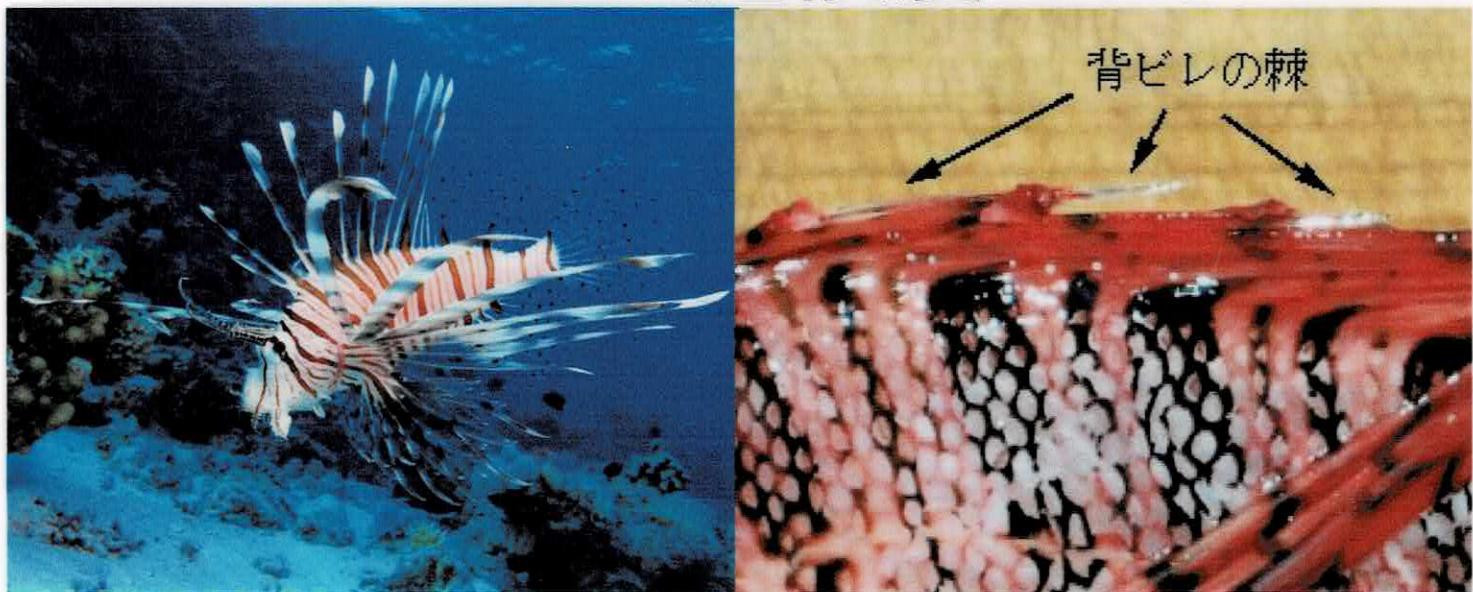
オウキユウ ショチ 応急処置

サ バアイ カンブ ュ ネツ ドク サヨウ カンワ ジュウヨウ
刺された場合、すぐに患部をお湯につけて、熱より毒の作用を緩和することが重要です。

ユ オンド ヤケド テイド ゼンゴ コト ドク シツ サヨウ オサ
お湯の温度は火傷しない程度(50°C前後)。こうする事で毒のタンパク質の作用を抑えます。

ゴ ピヨウイン ミ
その後に病院で診てもらいましょう。

ミノカサゴ(危険度★★)



トクショウ 特徴

トクショウ
特徴はなんといっても大きなヒレ。
オオ ムナ セ ヒロ スイチュウ ユウガ タダヨ
大きな胸ヒレと背ヒレをいっぱいに広げて水中を優雅に漂っている。

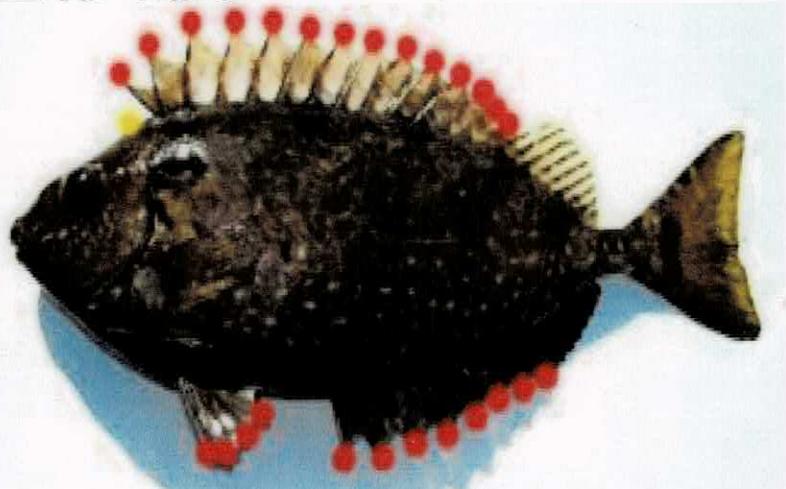
ショウジョウ 症状

サ シュンカン デンゲキ サ イタ カン
刺された瞬間は電撃のように刺す痛みを感じます。
そしてだんだん患部が腫れてきて、
ハ ケ ズツウ キニク コウチョク シッシン コキュウ コンナン
吐き気、頭痛、筋肉の硬直、失神、呼吸困難。

オウキュウ 応急処置

サ カンブ アラ
刺されたらすぐに患部をキレイに洗います。
トゲ
ト
棘もしっかり取ってください。
そしてやけどしない程度の熱いお湯に1時間程度つけます。

アイゴ(危険度★★)



特徴

セイギョ ゼンチョウ カラダ コ ハ サユウ ヒラ
成魚は全長30cmほどで、体は木の葉のように左右に平たい。
タイショク リョウカツショク ジ カッショク ヨコシマ スウボン ゼンシン シロ ハンテン
体色は緑褐色の地に褐色の横縞が数本あり全身に白っぽい斑点があるが、
ハンテン カンキョウ シゲキ スバヤ ヘンカ
この斑点は環境や刺激によって素早く変化する。

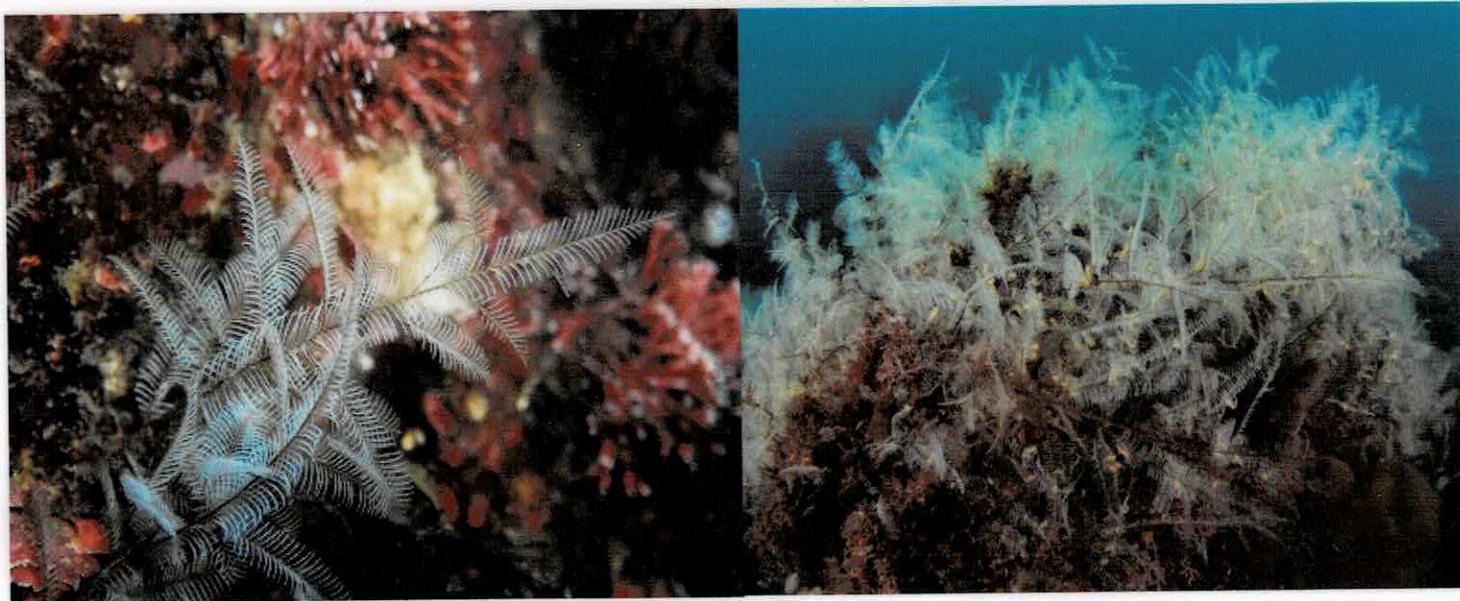
症状

サ キョウレツ イタ イタ ハンニチ スウジツ ツヅ
刺されてしまうと強烈な痛みがあり、その痛みは半日から数日続きます。
バアイ イタ スウシュウカン ツヅ
ひどい場合には痛みが数週間続くこともあります。
カンブ アカ ハ マヒ カンセツツウ オ バアイ
また、患部は赤く腫れ、しびれや麻痺、関節痛が起きる場合もあります。

応急処置

カンブ アラ ナガ ドク シボ ダ
まずは患部を洗い流してできるだけ毒を絞り出す。
テイド キュ カンブ フン イジョウ ツ
そして40°C～45°C程度のお湯に患部を30分以上浸けます。
イタ ツヅ バアイ ホカ ショウジョウ テ バアイ ピョウイン イ
痛みが続く場合、他の症状が出てきた場合は病院へ行きます。

シロガヤ(危険度★)



トクショウ

特徴

イン フツウ ミ
磯だまいなどに普通に見られる。一見したところシダ植物のような外見をしているが、
オナ ナカマ
クラゲと同じ仲間になる。

ショウジョウ

症状

フ シホウ シホウ ドク ハツシャ
触れると刺胞から刺胞毒が発射され、チクッとした痛みが生じやがて痺痛や痛みに変わる。

オウキュウ

ショチ

応急処置

サ ブン センジョウ コウ ガンユウ ナンコウ トフ
刺された部分を洗浄し、抗ヒスタミン含有のステロイド軟膏を塗布する。